

## 大学の世界展開力強化事業（平成23年度採択）中間評価結果

大 学 名	立命館大学
タ イ プ	A-I
構 想 名	東アジア次世代人文学リーダー養成のための、日中韓共同運営トライアングルキャンパス

### ◇大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

(総括評価)  <b>S</b>	優れた取組状況であり、事業目的の達成が見込まれる。
(コメント)	<p>本プログラムは、日中韓の選抜された学生が、それぞれのキャンパスを国際移動し、共同運営される講義群や各大学の講義群を履修することで、日中韓の各言語・文化・文学・歴史等を深く理解し、特に文化・教育研究分野で活躍する優秀な人材を育成する拠点の形成を目的としている。</p> <p>立命館大学においては、事業目的の達成に向けて、3大学・3カ国語対応のWeb履修管理システムを開発し、学生がいつどの国にいても成績評価確認等が行えるようにする取組や、到達度アンケートを実施してその分析結果を3大学で共有する取組などを実施することで、計画どおり堅実な組織運営と着実な調整・点検を行っており、周到かつ順調に進捗していると判断できる。</p> <p>遠隔講義システムを用いた合同会議の開催、厳格な派遣学生選抜過程の維持、国際寮やシェアハウスによる共同生活の実施とそのサポートなど、優れた質保証につながる工夫も見受けられ、日中韓3大学の学生の学びに対する環境整備も行き届いている。キャンパス・アジアの理念に即したプログラムの取組となっており、高く評価できる。</p> <p>また、移動キャンパスとその統一カリキュラムの実施を大学全体で組織的に取り組み、効果的に運営しており、他学部・他大学のモデルとなりうる点も、高い評価に値する。</p> <p>本プログラムの成果として、事業目的の一つである日中韓3カ国語の習得が順調に進んでいることは特筆すべきであり、今後、より一層高度な成果が期待される。</p>